

令和2年度 箏曲部の指導方針等と実績について

1 指導体制

顧問氏名		外部指導員氏名	資格等や経験
主顧問	加藤久典	加持和子	生田流正派 大師範
副顧問	野邊咲子		
副顧問	瀧澤 諭		
副顧問			

2 年間目標

(1)学校の教育目標を受けた目指す生徒像	部活動のさらなる活性化を目指す本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
(2)競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標	発表を成功させるため、練習に取り組む。
(3)地域貢献等の特色ある目標	小人数ながら、高文連の大会に出場して集団としての達成感を得る。また、デイホームを訪問して、練習の成果を披露するとともに、地域の高齢者との交流を深める。

3 指導方針

(1)技術や技能, 体力の向上	練習は、原則週に3日間とする。練習時間は、平日2時間を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。大会前は、休日、朝練習も実施する。
(2)公式戦や発表会への積極的な参加	年1回の大会に参加する。デイホームでの発表の機会を短期目標にしてモチベーションを高める。
(3)他校との合同練習、練習試合、校外活動の設定	年1回の大会で質の高い他校の演奏を生で聴き、次年度以降の目標とする。デイホームでの交流をととして社会貢献することの意義を実感できるようにする。
(4)部加入率の維持、増加	1年生部員4名以上の入部を確保し、総計10名以上の活動を維持する。

4 指導内容・方法

(1)体罰・暴言等のない指導	生徒教師間、生徒間の人間関係を良好に保ち、生徒の真情を大切にした指導に徹する。また、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料(DVD)を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
(2)生徒間の暴力禁止	上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用	顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
(4) 事故防止・安全配慮	生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

	月	内 容
1 学 期	4	1年生体験入部全校、生徒一斉入部会、3年生引退
	5	
	6	
	7	
	8	
2 学 期	9	大会
	10	大会に向けた練習
	11	大会での発表
	12	校内ライブ(予定)に向けた練習
3 学 期	1	地域のデイホーム訪問、演奏披露(予定)
	2	校内ライブ(予定)、新入生勧誘準備、入学式に向けた練習
	3	

6 活動日・活動場所

曜日	月	火	水	木	金	土	日
活動場所	和室		和室		和室		

7 公式戦・大会等の実績(令和元年度)

・高文連主催 中央大会参加 ・全高箏連主催 定期演奏会参加
--